

クラス番号	233	ゼミタイプ	サービスラーニング型 (NPO 型)
		担当教員名	林 祐介
テーマ	地域活動を通じた地域貢献学習を行いつつ、その時々「気づき」を積み重ねていくことで、「自己形成力」と「市民性」を高めていく		

ゼミナール概要

【目的】

自己形成力とは、「学生自身が市民社会の主体者として生きていく基礎力（生きる力）であると同時に、社会福祉専門としてキャリア形成していくための基本となる力」のことである（出所：日本福祉大学ホームページ）。自己形成力を高めていくために、具体的に以下の3つの力を身に付けていくことを目的とする。
 ①真実を探求する「まなぶ力（学習意欲）」、②慈愛を他者と共感できる「つながる力（対人関係能力）」、③献身によって問題を解決していく「やり取りとげる力（問題解決力）」。さらに、地域の問題解決をしているNPOの活動に直接触れることで、市民性を育むことを目的とする。

【内容】

- ①知多半島の5市5町の地域特性や地域課題の把握。
- ②ゼミとしてのチームや活動先ごとのチームづくり。
- ③活動先となるNPOの選択・事前学習（選んだNPOのことや地域を調べる）。
- ④チームの仲間や活動先の方とのコミュニケーション、地域活動（5日間）の企画・計画の立案。
- ⑤現場体験、活動記録、活動のまとめの提出。
- ⑥学んだことをゼミ内で共有・振り返り会で発表。
- ⑦より深く学びたいテーマで研究。
- ⑧一年間の学びの振り返りとまとめ、個人レポートの提出。

【方法】

自己形成力の達成を評価するために、ポートフォリオを活用し、学生自身で評価をする。さらに、グループディスカッションやメッセージシートを活用し、グループ間での相互評価を実施する。加えて、活動先からの活動評価を受けつつ、教員による学習支援によってこれまでの評価内容を深めていく。

【授業計画】

前期は、夏休み期間中に行う地域活動（5日間）に向けて、ゼミとしてのチームや活動先ごとのチームづくりをしつつ、活動先となるNPOのことや地域特性・課題を把握するための事前学習を中心に進めていく。後期は、地域活動の振り返りから始まり、実践報告会と研究発表会に向けた準備を行いつつ、それぞれの場でゼミ発表をしてもらう予定である。

担当教員からのメッセージ

2005年4月から2018年3月までの13年間、回復期リハビリテーション病棟と介護療養型医療施設（当時）を有する病院で、医療ソーシャルワーカー（MSW）として勤務していました。その後、大学教員に転身し、現在に至っています。MSWとして働いていた時には、病院内だけでなく、地域の病院・施設や関係機関の方たちとのつながりも大事にしていました。日本福祉大学に赴任して1年目ということもあり、慣れないうちはご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、皆さんからもいろいろと教えてもらいながら、共に成長していければと思っています。よろしくお願ひ致します。